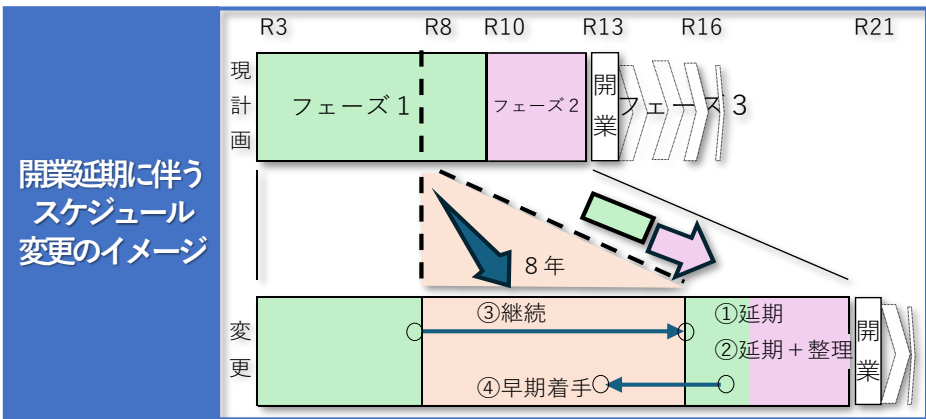


● 取組項目ごとに、新幹線との関連性や今後の情勢変化の影響などの観点で4区分に整理し、スケジュールを変更（第1段階：令和7年度）

分類		取組内容														
		見直し【しない】（社会情勢変化の影響小）	見直し【する】（社会情勢変化の影響大）													
取組時期	延期【おとろ】	<p><b>① 延期（当面休止）</b> 新幹線の開業遅れにより延期する取組（開業の5年前以降に取組を再開する） → 開業時期に合わせて行う取組</p> <table border="1"> <tr> <td>2次交通対策</td> <td>公共交通の利用促進と充実の好循環</td> <td>(1)情報発信の強化(情報発信、PR、案内・サインの設置) (2)公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ (4)移住・定住の促進</td> </tr> <tr> <td>ソフト対策</td> <td>新幹線開業を地域の活力に繋げる取組</td> <td>(5)企業立地の促進</td> </tr> </table>	2次交通対策	公共交通の利用促進と充実の好循環	(1)情報発信の強化(情報発信、PR、案内・サインの設置) (2)公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ (4)移住・定住の促進	ソフト対策	新幹線開業を地域の活力に繋げる取組	(5)企業立地の促進	<p><b>② 延期+整理</b> 延期するが、社会情勢の変化に応じて内容を見直す取組 → 詳細は第2段階で検討（※）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">2次交通対策</td> <td>利便性の高い2次交通網の構築</td> <td>(1) バス交通の充実 (2) タクシーサービスの充実 (3) レンタカーサービスの充実 (4) レンタサイクルの充実</td> </tr> <tr> <td>実効性を高める基盤づくり</td> <td>(1) ICTを活用した新たなモビリティサービスの提供 (2) 広域連携を強化する体制の構築 (3) 新駅の交通結節点機能の向上（駐車場・駅前帯施設の整備）※駅前広場は整備主体が北海道のため除外 (4) 移動円滑化の取組の推進</td> </tr> <tr> <td>公共交通の利用促進と充実の好循環</td> <td>(1) 情報発信の強化（外国人観光客を含む来訪者対応の強化）</td> </tr> </table>	2次交通対策	利便性の高い2次交通網の構築	(1) バス交通の充実 (2) タクシーサービスの充実 (3) レンタカーサービスの充実 (4) レンタサイクルの充実	実効性を高める基盤づくり	(1) ICTを活用した新たなモビリティサービスの提供 (2) 広域連携を強化する体制の構築 (3) 新駅の交通結節点機能の向上（駐車場・駅前帯施設の整備）※駅前広場は整備主体が北海道のため除外 (4) 移動円滑化の取組の推進	公共交通の利用促進と充実の好循環	(1) 情報発信の強化（外国人観光客を含む来訪者対応の強化）
		2次交通対策	公共交通の利用促進と充実の好循環	(1)情報発信の強化(情報発信、PR、案内・サインの設置) (2)公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ (4)移住・定住の促進												
	ソフト対策	新幹線開業を地域の活力に繋げる取組	(5)企業立地の促進													
	2次交通対策	利便性の高い2次交通網の構築	(1) バス交通の充実 (2) タクシーサービスの充実 (3) レンタカーサービスの充実 (4) レンタサイクルの充実													
実効性を高める基盤づくり		(1) ICTを活用した新たなモビリティサービスの提供 (2) 広域連携を強化する体制の構築 (3) 新駅の交通結節点機能の向上（駐車場・駅前帯施設の整備）※駅前広場は整備主体が北海道のため除外 (4) 移動円滑化の取組の推進														
公共交通の利用促進と充実の好循環		(1) 情報発信の強化（外国人観光客を含む来訪者対応の強化）														
延期【つなぐ】	<p><b>③ 継続（行政主体）</b> 新幹線の有無によらず、行政主体で継続する取組（協議会としては当面休止） → もともと市で進めている取組</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">ソフト対策</td> <td>新幹線開業を契機とした個人観光客の誘致拡大</td> <td>(1)小樽の文化・食資源を活用した多彩な個人観光客向けプログラムの開発 (2)地域連携や電子媒体の活用等による効果的な情報発信</td> </tr> <tr> <td>新幹線開業を地域の活力に繋げる取組</td> <td>(1)滞在時間・宿泊客の拡大を目指した取組 (2)小樽の地域産業と観光産業の結びつき強化 (3)観光入込の季節間の平準化に向けた取組推進 (4)中小事業者を中心とした外国人観光客への対応力強化</td> </tr> </table>	ソフト対策	新幹線開業を契機とした個人観光客の誘致拡大	(1)小樽の文化・食資源を活用した多彩な個人観光客向けプログラムの開発 (2)地域連携や電子媒体の活用等による効果的な情報発信	新幹線開業を地域の活力に繋げる取組	(1)滞在時間・宿泊客の拡大を目指した取組 (2)小樽の地域産業と観光産業の結びつき強化 (3)観光入込の季節間の平準化に向けた取組推進 (4)中小事業者を中心とした外国人観光客への対応力強化	<p><b>④ 早期着手</b> 早め始めることで効果がある取組（専門部会としては当面休止）</p> <table border="1"> <tr> <td>2次交通対策</td> <td>実効性を高める基盤づくり 公共交通の利用促進と充実の好循環</td> <td>(3)新駅の交通結節点機能の向上（地域内道路の整備） (3)新駅周辺の魅力づくり(勝納川の親水空間)</td> </tr> <tr> <td>ソフト対策</td> <td>新駅周辺の魅力づくり 開業気運の醸成</td> <td>(1)新駅を起点とした新たな観光プログラムの創造(奥沢水源地や勝納川等の自然環境を活用した観光ガイドプログラムの開発など) (1)新幹線開業に向けた市民の意識醸成と利用促進 (2)開業気運を高めるイベントの実施</td> </tr> </table>	2次交通対策	実効性を高める基盤づくり 公共交通の利用促進と充実の好循環	(3)新駅の交通結節点機能の向上（地域内道路の整備） (3)新駅周辺の魅力づくり(勝納川の親水空間)	ソフト対策	新駅周辺の魅力づくり 開業気運の醸成	(1)新駅を起点とした新たな観光プログラムの創造(奥沢水源地や勝納川等の自然環境を活用した観光ガイドプログラムの開発など) (1)新幹線開業に向けた市民の意識醸成と利用促進 (2)開業気運を高めるイベントの実施			
	ソフト対策		新幹線開業を契機とした個人観光客の誘致拡大	(1)小樽の文化・食資源を活用した多彩な個人観光客向けプログラムの開発 (2)地域連携や電子媒体の活用等による効果的な情報発信												
新幹線開業を地域の活力に繋げる取組		(1)滞在時間・宿泊客の拡大を目指した取組 (2)小樽の地域産業と観光産業の結びつき強化 (3)観光入込の季節間の平準化に向けた取組推進 (4)中小事業者を中心とした外国人観光客への対応力強化														
2次交通対策	実効性を高める基盤づくり 公共交通の利用促進と充実の好循環	(3)新駅の交通結節点機能の向上（地域内道路の整備） (3)新駅周辺の魅力づくり(勝納川の親水空間)														
ソフト対策	新駅周辺の魅力づくり 開業気運の醸成	(1)新駅を起点とした新たな観光プログラムの創造(奥沢水源地や勝納川等の自然環境を活用した観光ガイドプログラムの開発など) (1)新幹線開業に向けた市民の意識醸成と利用促進 (2)開業気運を高めるイベントの実施														



◆ 延期するものについては、開業時に機会の取りこぼしがないよう情報収集等に努める。

○将来の社会情勢の変化（不確実性）への対応  
→ 段階的に検証を行う。

◎見直し時期（予定）  
1回目(中間)：令和10年度（延期となる期間の半分＝4年目）  
2回目(全体)：令和14年度（延期となる期間＝8年目）

※第2段階  
取組内容の変更